



GLOBAL-DINING CO., LTD.

2011年12月期 第2四半期 決算説明資料
August 11th, 2011

2011年12月期
第2四半期 決算報告

Contents

2011年12月期 第2四半期 決算報告

. 業績サマリー

- ・ 損益計算書の概要(連結) 5
- ・ 貸借対照表の概要(連結) 6
- ・ キャッシュ・フローの概要(連結) 7
- ・ 過去5年間 売上高等主要数値の推移(連結) 8

. 予算サマリー

- ・ 2011年12月期 通期計画(連結) 10

. 国内コンセプト別 売上・営業利益の推移

- ラ・ボエム & ゼスト 12
- モンスーン & 権八 13
- フードコロシウム & デイナーレストラン 14

- . 2011年上期のおさらい 15

- . 2011年下期の取り組み 19

参考資料

- ・ 会社別実績概要 22
- ・ 会社別予算概要 23
- ・ 損益計算書概要 - 国内 24
- ・ 月次売上高 前年同期比推移(国内) 25
- ・ 客数と客単価の前年同期比推移(国内) 26
- ・ 損益計算書概要 - 連結子会社(米国) 27
- ・ 2011年12月期 第2四半期累計期間
赤字店舗一覧 28

.業績サマリー

損益計算書の概要(連結)

	2011年12月期 第2四半期累計期間						2010年12月期 第2四半期累計期間			
	実績		計画				実績			
		構成比		構成比	差異			構成比	差異	
売上高	5,540	100.0%	5,372	100.0%	167	3.1%	6,898	100.0%	(1,357)	-19.7%
営業利益	(288)	-5.2%	(391)	-7.3%	102	-	(173)	-2.5%	(115)	-
経常利益	(297)	-5.4%	(394)	-7.3%	96	-	(212)	-3.1%	(84)	-
当期純利益	(469)	-8.5%	(566)	-10.6%	97	-	(693)	-10.1%	223	-
1株当たり 当期純利益	46円78銭		56円44銭				69円07銭			

(金額の単位:百万円)

期中平均株数(単位:千株)

6/30/2010: 10,044

6/30/2011: 10,044

為替レート

JPY/USD=88.48, JPY/HKD=11.37, HKD/MOP=1.03

JPY/USD=80.73

【売上】

- 国内は売上減 震災の影響を受けた3月は全店合計で 45.1% 累計値では前年比:既存店 19.6% 全店 20.5%
- 米国は売上増 モンスーンカフェサンタモニカは売上が減少したが、全体的にはプラス
前年比(USドルベース):全店(=既存店) + 1.2%

【コスト】

- 国内では調達コスト削減やピュッフェからの脱却により材料費率は1.2ポイントの改善 また、激しい売上減の環境下における各店舗での最低人員配置により労務費率が悪化、同様に賃料も減額しているものの固定賃料の負荷などにより経費率も悪化

【その他】

- ストック・オプション償却により新株予約権戻入益45百万円を特別利益として計上
- 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額135百万円、災害による損失を25百万円それぞれ特別損失として計上
- 当期の業績見通しを踏まえて、繰延税金資産約44百万円を取崩

貸借対照表の概要(連結)

連結	2011年12月期 第2四半期末		2010年12月期末		増減	
流動資産	879	10.9%	1,414	16.2%	(534)	-37.8%
現預金	351		593		(242)	
売掛金	286		416		(130)	
原材料及び貯蔵品	168		221		(53)	
前払費用	56		117		(61)	
繰延税金資産	0		44		(44)	
その他	16		20		(3)	
固定資産	7,162	89.1%	7,301	83.8%	(138)	-1.9%
有形固定資産	5,442	67.7%	5,542	63.6%	(100)	-1.8%
建物・構築物	2,406		2,465		(59)	
工具器具	174		202		(27)	
リース資産	21		18		3	
土地	2,839		2,847		(8)	
建設仮勘定	0		7		(7)	
無形固定資産	43	0.5%	48	0.6%	(4)	-9.9%
投資その他の資産	1,676	20.8%	1,710	19.6%	(33)	-2.0%
投資有価証券	7		8		0	
長期前払費用	28		34		(5)	
繰延税金資産	0		0		0	
差入保証金	1,639		1,667		(27)	
総資産	8,042	100.0%	8,715	100.0%	(673)	-7.7%

	2011年12月期 第2四半期末		2010年12月期末		増減	
流動負債	2,253	28.0%	2,729	31.3%	(475)	-17.4%
買掛金	394		534		(139)	
短期借入金	455		470		(14)	
1年以内返済予定 長期借入金	599		775		(175)	
未払金	123		154		(31)	
未払費用	481		584		(102)	
未払法人税、消費税	70		71		(1)	
その他	127		139		(11)	
固定負債	1,941	24.1%	1,609	18.5%	331	20.6%
社債	690		0		690	
長期借入金	964		1,548		(583)	
資産除去債務	246		0		246	
その他	40		61		(21)	
純資産	3,847	47.8%	4,376	50.2%	(529)	-12.1%
資本金	1,472		1,472		0	
資本剰余金	2,127		2,127		0	
利益剰余金	782		1,252		(469)	
為替換算調整勘定	(532)		(520)		(11)	
その他	(2)		45		(48)	
負債・純資産合計	8,042	100.0%	8,715	100.0%	(673)	-7.7%

(単位: 百万円)

- ・ 現預金は242百万円減 総資産は673百万円減 固定負債は資産除去債務246百万円が会計基準適用により増加
- ・ 長期借入金を社債に振替えたため社債が690百万円増加、長期借入金は減少
- ・ 当期の業績見通しを踏まえて、繰延税金資産約44百万円を取崩

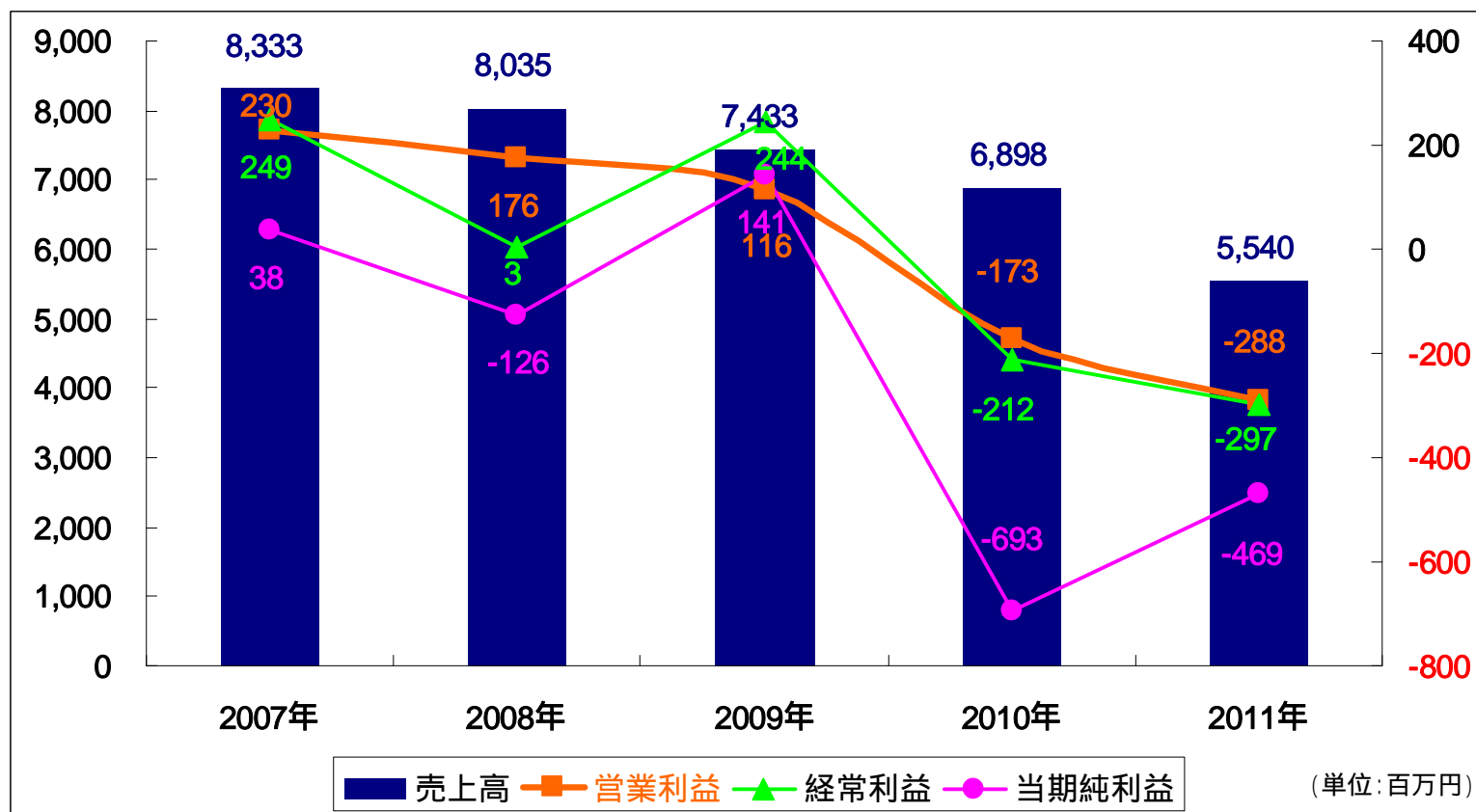
キャッシュ・フローの概要(連結)

連結	2011年12月期 第2四半期累計期間	2010年12月期 第2四半期累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	(162)	16	(178)
税金等調整前当期純損失	(416)	(460)	43
減価償却費	212	279	(66)
為替差損益	1	36	(35)
事業整理損	0	181	(181)
資産除去債務による影響額	135	0	135
株式報酬費用	(45)	0	(45)
法人税等の支払額	(8)	(54)	45
その他	(41)	32	(74)
投資活動によるキャッシュ・フロー	6	182	(176)
定期預金の預入による支出	0	(10)	10
定期預金の払戻による収入	0	60	(60)
有形固定資産の取得による支出	(12)	(25)	13
事業整理による収入	0	137	(137)
保証金の回収による収入	21	20	0
その他	(2)	0	(2)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(86)	(245)	159
短期借入金の増減額	(14)	198	(212)
長期借入れによる収入	390	109	280
長期借入金の返済による支出	(1,148)	(550)	(597)
社債の発行による収入	689	0	689
その他	(2)	(2)	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	(1)	1
現金及び現金同等物の増減額	(242)	(47)	(194)
現金及び現金同等物の期首残高	593	592	1
現金及び現金同等物の期末残高	351	544	(193)

(単位:百万円)

- 税金等調整前当期純損失は416百万円、営業キャッシュ・フローは前年比 178百万円の 162百万円
- 財務キャッシュ・フローでは長期借入金690百万円を社債に振替えたため出し入れが発生
- 結果として投資活動によるキャッシュ・フローは6百万円、財務活動によるキャッシュ・フローは 86百万円となった

過去5年間 売上高等主要数値の推移(連結)



- 売上は07年をピークとして減少しているが、11年は震災の影響を受け激しい減少幅となった。昨年同期比で 19.7%となり、過去5年間では最低の売上高となった
- 売上減の影響を受けて営業利益、経常利益共に過去5年間比較においてワースト
- 当期純損失は業績悪化に加え、資産除去債務会計基準適用に伴う影響額、繰延税金資産の取崩、国内店舗閉鎖等に伴う特別損失計上などにより 469百万円となった

. 予算サマリー

2011年12月期 通期計画(連結)

	2011年12月期 通期計画		2010年12月期 通期実績			
		構成比		構成比	差異	
売上高	11,728	100.0%	13,746	100.0%	(2,018)	-14.7%
営業利益	(346)	-3.0%	(72)	-0.5%	(274)	-
経常利益	(354)	-3.0%	(125)	-0.9%	(228)	-
当期純利益	(536)	-4.6%	(672)	-4.9%	136	-
1株当たり 当期純利益	53円42銭		66円98銭			

想定為替レート JPY/USD=83.15

(金額の単位:百万円)

【売上】

- 国内は節電ムードや原発不安の影響もあり、売上減が継続するものと予測しているが当初想定よりは良い方向へ推移している
下期予算売上前年比:全店 8.4%
- 米国は全店(=既存店)売上は増加予想
前年比(USドルベース):全店 + 6.8%

【コスト】

- 引き続き変動費の効率化や更なる経費削減、賃料の減額に取組み、売上減少の中でも利益が確保出来る体勢を目指す

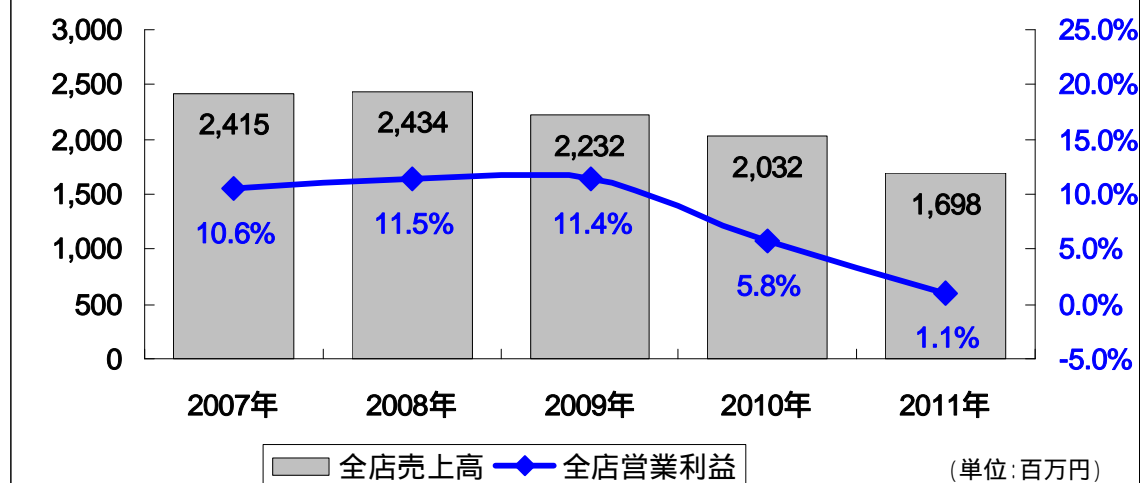
【その他】

- 想定為替レートは当初から変更なし
- 現状のコスト管理体制を維持しつつ下半期の売上高が増加できれば上方修正の可能性もある

・国内コンセプト別
売上・営業利益の推移

国内コンセプト別 売上・営業利益の推移 -ラ・ボエム & ゼスト-

La Boheme

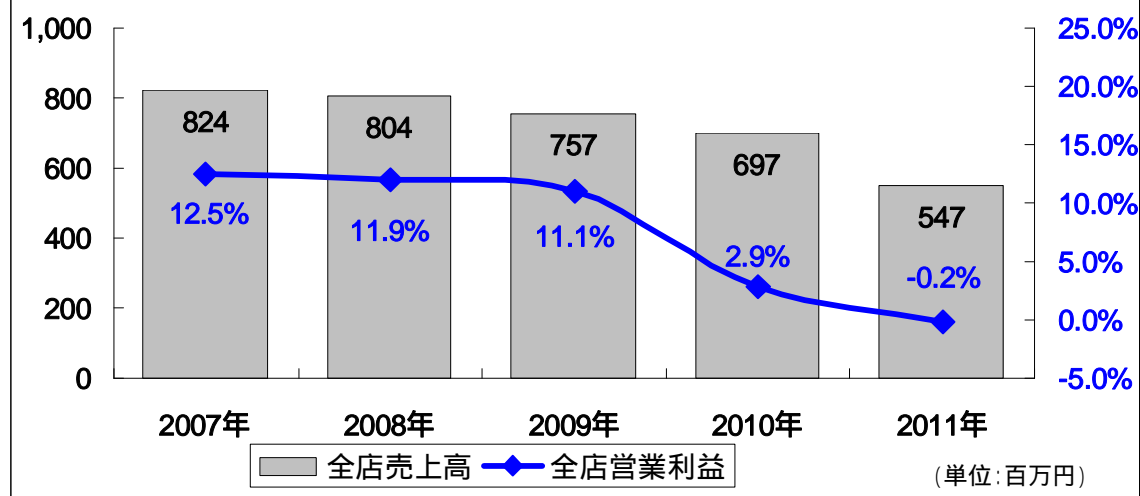


【前年対比】

既存店売上 -16.4%
 原材料 1.1ポイント改善
 労務費 3.3ポイント悪化

震災影響による売上減(商業施設・大型店パーティの落ち込み)。産直野菜の取引拡大や店舗での手作り商品を増やすことによって顧客満足度の向上と原価改善を実現。下期はグランドメニューとワインメニューの改訂を行い、高品質かつ低価格でお値打ち感のある商品開発に取り組み顧客満足度と売上の向上を目指す。

Zest

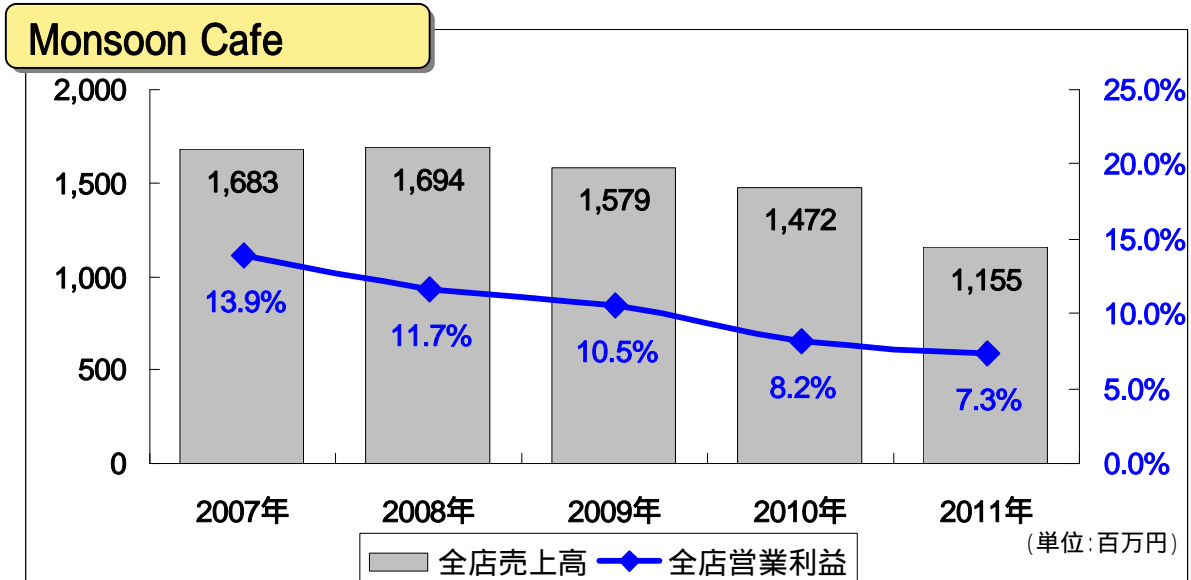


【前年対比】

既存店売上 -19.7%
 原材料 2.4ポイント改善
 労務費 2.9ポイント悪化

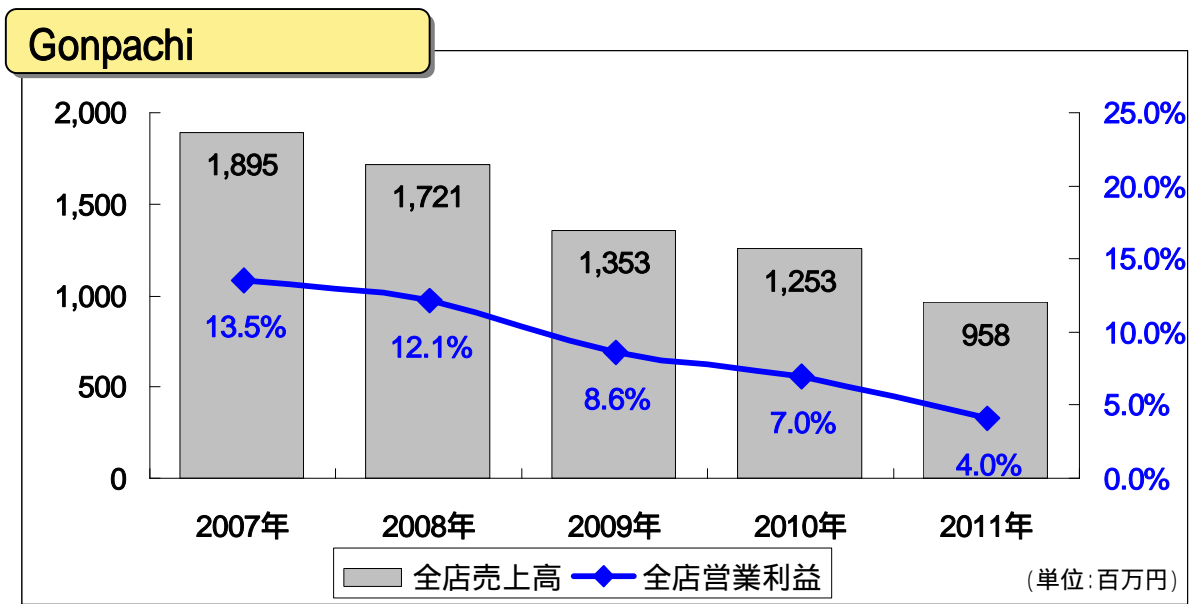
震災影響以外に広尾ゼストの閉店による売上減。また前年のサッカーワールドカップ関連イベントに見合う大型店舗での売上が確保できなかったことでの売上減もあった。グランドメニュー改訂に伴いレシピの精査と商品を入れ替えたため、原価は改善。下期はさらなる売上向上につながるメニューの見直しと産直野菜導入を開始する予定。

国内コンセプト別 売上・営業利益の推移 - モンスーンカフェ & 権八 -



【前年対比】
 既存店売上 -19.6%
 原材料 1.8ポイント改善
 労務費 1.1ポイント悪化

震災影響による売上減(観光地・都心の大型店)。ランチバイキングの内容・価格見直しや産直品の積極的な導入により高品質低価格の原材料調達を実現し、原価を改善。さらに人件費・ロス管理の徹底により利益確保に努めた。下期は産直品目(野菜・肉・魚介)拡大や旬のフルーツを使ったフェア開催により顧客満足度と売上げの向上を目指す。

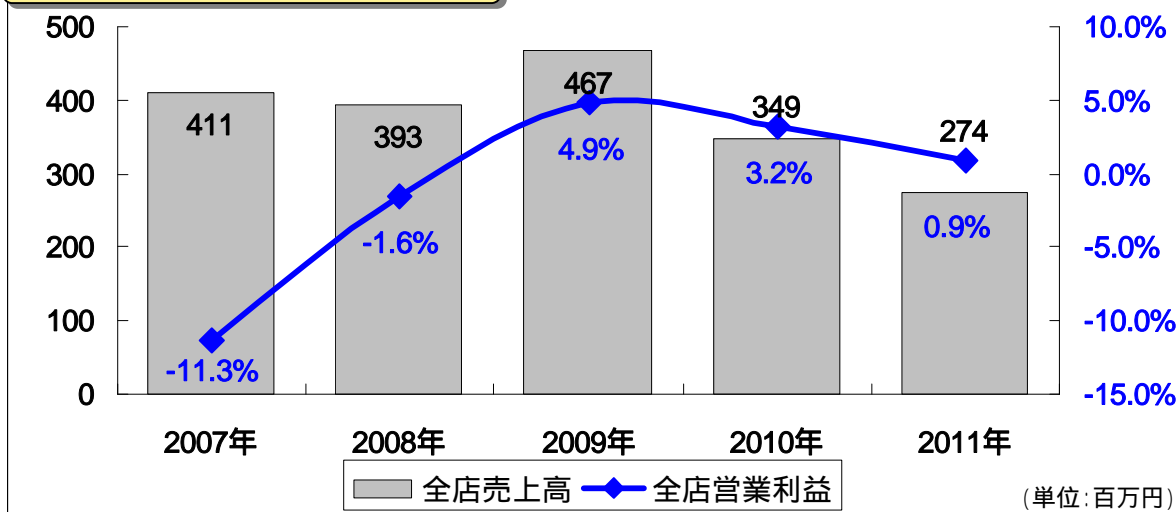


【前年対比】
 既存店売上 -23.5%
 原材料 1.5ポイント改善
 労務費 1.4ポイント悪化

震災影響による売上減(観光地・都心の大型店)。産直野菜の導入拡大と、すべての原材料を見直し仕入価格を改善したことで原価を中心としたコスト管理を徹底。下期はグランドメニューの改定と既存メニューのブラッシュアップにより、さらなる原価改善と顧客満足度アップを目指し、売上の回復につなげていく。

国内コンセプト別 売上・営業利益の推移 -フードコロシウム&ディナーレストラン-

Food Colosseum

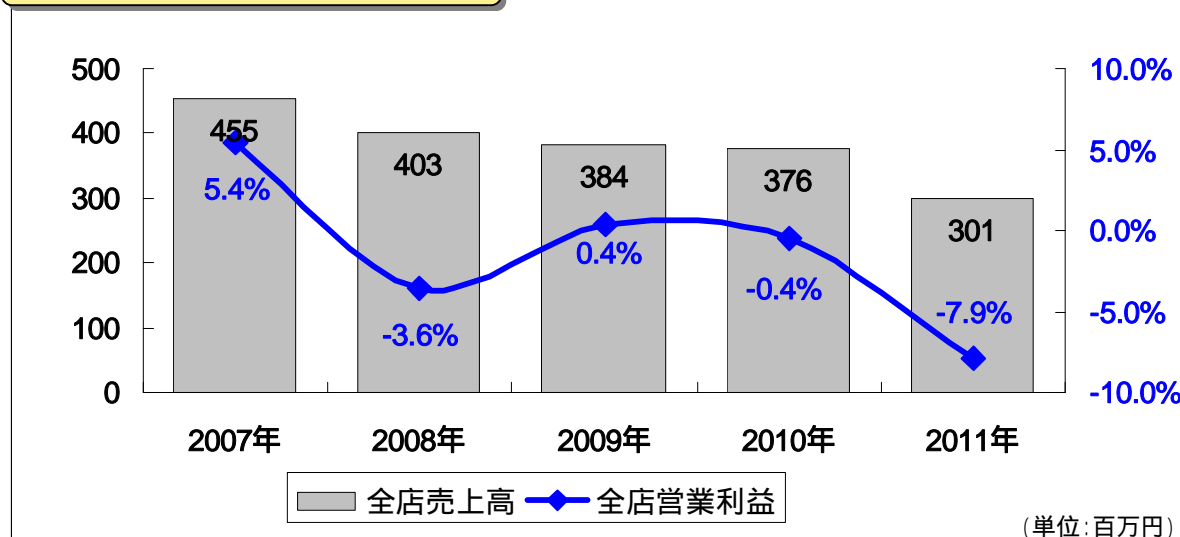


【前年対比】

既存店売上 -21.5%
 原材料 0.8ポイント改善
 労務費 1.4ポイント悪化

沖縄は施設へのツアー客の減少、那須は震災後の原発事故や高速道路有料化などの影響により売上減。理論原価分析による、商品変更、Aランク商品の見直しにより原価は改善。下期は低単価商品の導入や各種イベント企画により集客増、観光地では地元食材を直納による仕入原価の改善を狙う。

Dinner Restaurants



【前年対比】

既存店売上 -19.9%
 原材料 1.9ポイント改善
 労務費 1.2ポイント悪化

震災影響により高価格帯レストランの利用が自粛傾向にあり、売上減。夏場の計画停電が危惧され、第三四半期の婚礼・パーティ売上が厳しい見込みのため、夏季特別キャンペーンを導入するなど、売上回復に対処。下期は営業スタイルの見直し、人材の入れ替え、プロモーション強化等により売上向上を目指す。

. 2011年上期のおさらい

売上実績と前年対比(国内業態別)

- ・ 震災以降の厳しい外食事業環境の中、売上前年対比マイナス19.7%

(単位:百万円)

2011年 上半期	合計	ラ・ボエム	ゼスト	モンスーン	権八	フード コロシウム	ディナー レストラン	その他*
売上高	5,225	1,698	547	1,155	958	274	301	292
前年比	-19.7%	-16.4%	-21.5%	-21.5%	-23.5%	-21.5%	-19.9%	-11.4%

その他は、ウェディング部門とデザート部門の合計値であります。

国内事業

売上高

5,225百万円 (昨年同期対比 1,283百万円)

営業損失

-236百万円 (昨年同期対比 195百万円)

国内事業

- **実力主義の徹底**
 - 実績とルールに基づいたフェアな競争と徹底した人材の入れ替えを実施
- **原材料の見直し**
 - 複数業態間で食材共有し、産直品の積極導入を行うことで全社で原価を改善
- **不採算店舗の閉鎖**
 - ゼスト キャンティーナ 広尾 4月11日閉店
- **賃貸契約の見直し**
 - 不動産オーナー様のご理解の下、激震以降の経済状況に対応
- **全館全席禁煙の継続**
 - 昨年より引き続き健康増進法に基づいた積極的な取り組みを継続

Global-Dining Inc. of California(米国子会社)

売上 3,908千ドル 前年対比 1.2% 45千ドル 為替レート: JPY/USD=80.73

1. 既存店売上前年比プラス1.2%

- ビバリーヒルズ権八、トーランス権八、LAラ・ボエム共に前年比プラス

2. 人材の強化と組織の刷新

- 国内より実績のある人材を派遣し、SVとして活躍

3. LAのメディア等へのプレスリリースを積極化

- PR専門ポジションを設置 企業や団体客獲得へ

. 2011年下期の取り組み

● 組織力の強化

- CEOが営業部門を直轄し、リーダー層を直接指導
- 営業部門リーダー層の定期的な入れ替え
- コーポレートシェフの設置による全社キッチンの品質統一と強化
- 本社管理部門の統括役員設置による本部機能の強化
- 商品企画室の設置

● メニュー・商品力の強化

- 既存メニューの定期的な捩入れと高品質・低価格な新規メニューの開発
- 産直品の取引品目と、業態間での食材共有の拡大による原価改善
- 主要4業態への魅力的なワインリストの導入

● 採用・教育システム強化

- 新人研修・試験のシステムを強化し優秀なスタッフのみを確保

● ITインフラ強化

- 既存システムの見直しと積極的な新規投資により、業務効率向上

● 家賃交渉の継続

● 海外子会社(GDC)の業務改善

- 国内より優秀なリーダーを継続的に派遣し、オペレーション・システムを見直し指導

參考資料

会社別実績概要

国内	2011年12月期 第2四半期累計期間						2010年12月期 第2四半期累計期間			
	実績		計画				実績			
		構成比		構成比	差異			構成比	差異	
売上高	5,225	100.0%	5,030	100.0%	195	3.9%	6,508	100.0%	(1,283)	-19.7%
営業利益	(236)	-4.5%	(344)	-6.8%	107	-	(41)	-0.6%	(195)	-
経常利益	(249)	-4.8%	(355)	-7.1%	105	-	(42)	-0.7%	(207)	-
当期純利益	(421)	-8.1%	(527)	-10.5%	105	-	(880)	-13.5%	459	-

(単位: 百万円)

米国	2011年12月期 第2四半期累計期間						2010年12月期 第2四半期累計期間			
	実績		計画				実績			
		構成比		構成比	差異			構成比	差異	
売上高	315	100.0%	342	100.0%	(27)	-7.9%	341	100.0%	(26)	-7.7%
営業利益	(51)	-16.4%	(46)	-13.7%	(4)	-	(65)	-19.2%	13	-
経常利益	(48)	-15.3%	(39)	-11.5%	(8)	-	(67)	-19.8%	19	-
当期純利益	(48)	-15.3%	(39)	-11.5%	(8)	-	(67)	-19.8%	19	-

(単位: 百万円)

想定為替レート: JPY/USD=83.15

各数値は連結修正前の会社別数値になります

会社別予算概要

国内	2011年12月期	通期計画
		構成比
売上高	11,021	100.0%
営業利益	(269)	-2.4%
経常利益	(286)	-2.6%
当期純利益	(469)	-4.3%

2010年12月期 通期実績			
	構成比	差異	
	13,051	100.0%	(2,030) -15.6%
	106	0.8%	(376) -
	95	0.7%	(382) -
	(812)	-6.2%	343 -

(単位:百万円)

米国	2011年12月期	通期計画
		構成比
売上高	707	100.0%
営業利益	(76)	-10.9%
経常利益	(67)	-9.5%
当期純利益	(67)	-9.5%

2010年12月期 通期実績			
	構成比	差異	
	649	100.0%	57 8.9%
	(117)	-18.1%	40 -
	(123)	-19.0%	56 -
	(123)	-19.0%	56 -

(単位:百万円)

想定為替レート: JPY/USD=83.15

各数値は連結修正前の会社別数値になります

損益計算書概要 - 国内

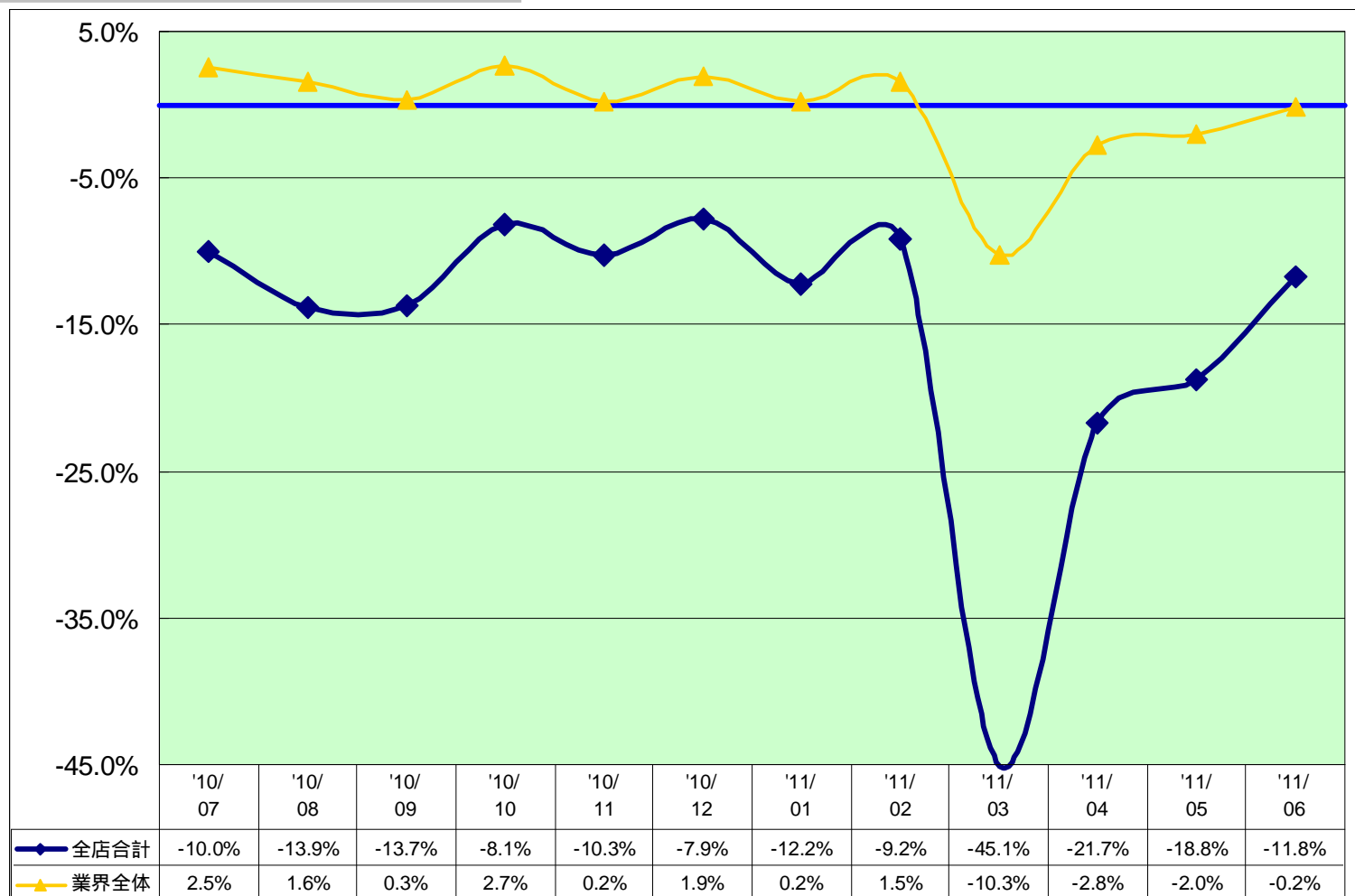
2011年12月期 第2四半期累計期間	合計	ラ・ボエム	ゼスト	モンスーン	権八	フード コロシウム	ディナー レストラン	その他*	本部
売上高	5,225	1,698	547	1,155	958	274	301	292	
前年比	-19.7%	-16.4%	-21.5%	-21.5%	-23.5%	-21.5%	-19.9%	-11.4%	
売上原価	4,997	1,644	535	1,050	898	262	318	267	23
売上総利益	228	54	12	106	60	11	(17)	25	(23)
販管費	465	36	14	22	21	9	6	9	348
営業利益	(237)	18	(1)	84	39	2	(24)	16	(371)
営業利益率	-4.5%	1.1%	-0.2%	7.3%	4.0%	0.9%	-7.9%	5.3%	
店舗数	60	23	7	12	7	3	4	4	

2010年12月期 第2四半期累計期間	合計	ラ・ボエム	ゼスト	モンスーン	権八	フード コロシウム	ディナー レストラン	その他*	本部
売上高	6,508	2,032	697	1,472	1,253	349	376	329	
売上原価	6,027	1,881	663	1,321	1,136	329	377	320	
売上総利益	482	151	34	152	117	20	(1)	9	0
販管費	523	33	14	31	29	8	1	7	399
営業利益	(41)	118	20	120	88	11	(2)	2	(399)
営業利益率	-0.6%	5.8%	2.9%	8.2%	7.0%	3.2%	-0.4%	0.5%	
店舗数	63	23	8	12	7	3	4	6	

その他は、ウェディング部門とデザート部門の合計値であり、ウェディング部門の営業所を店舗数に含んでおります。

(単位:百万円)

月次売上高 前年同期比推移(国内)



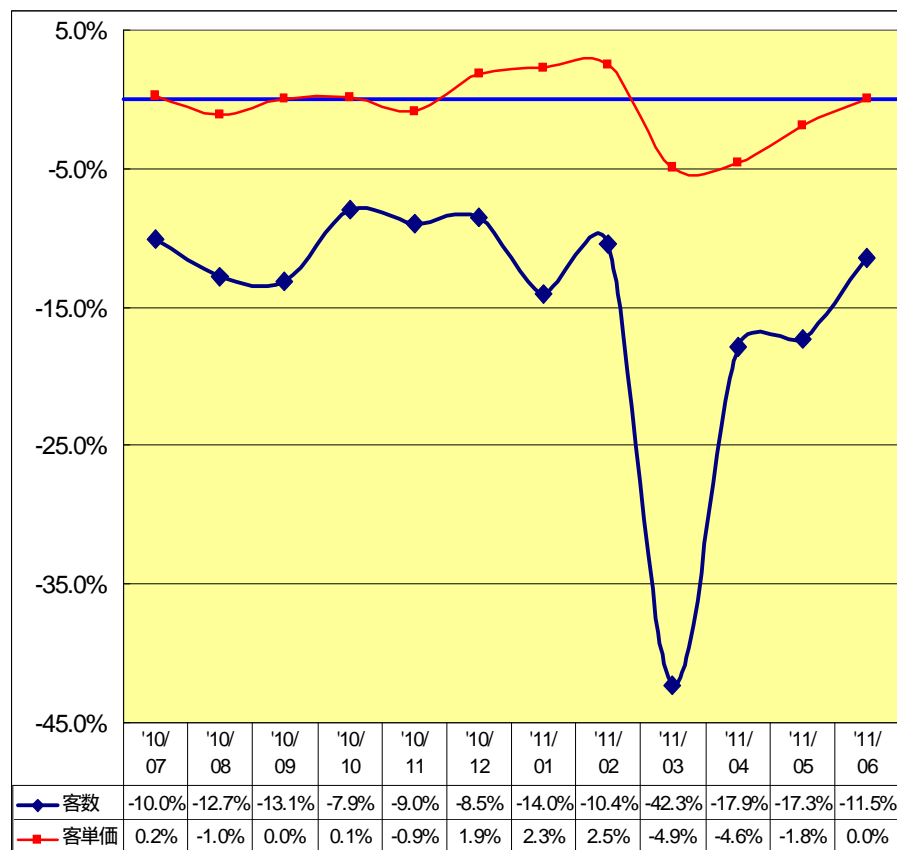
2011年12月期 第2四半期累計 売上高前年同期比

全店 20.5%
既存店 19.6%

1. 飲食業全体比較の為、ウェディング部門は除いております
2. 飲食業全体は、日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」のデータを使用しております

客数と客単価の前年同期比推移(国内)

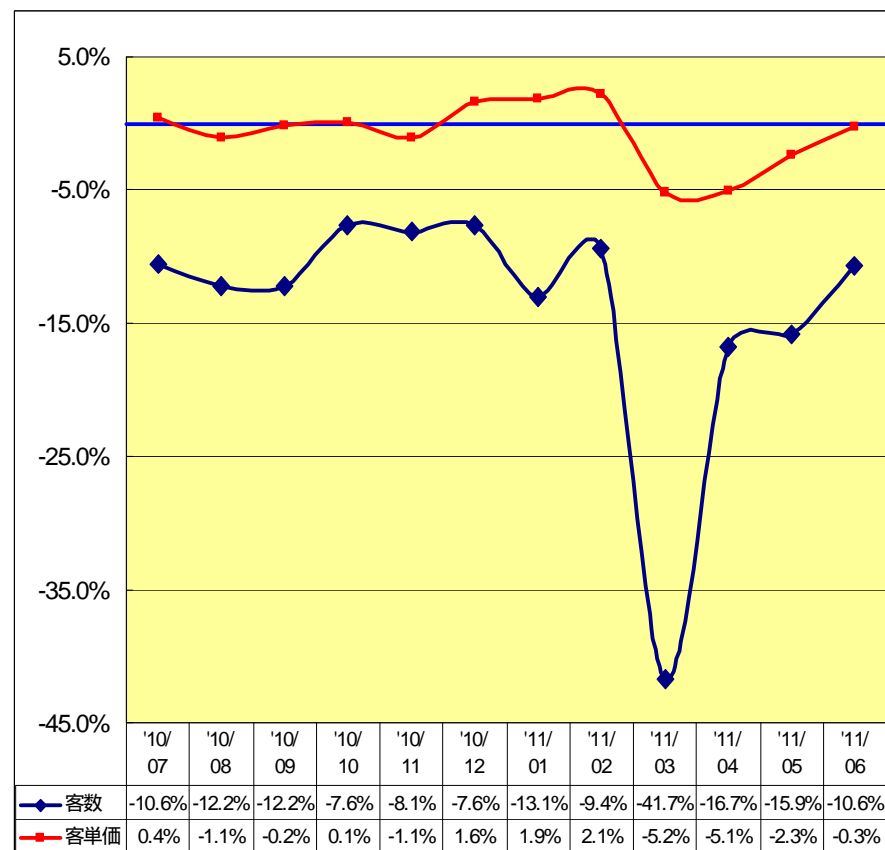
全店



第2四半期累計期間前年比

客数 15.6%・客単価 2.1%

既存店



第2四半期累計期間前年比

客数 14.5%・客単価 2.5%

損益計算書概要 - 連結子会社(米国)

2011年12月期第2四半期累計期間							
	ラ・ボエム	モンスーン	LA権八	Torrance権八	本部	合計	
売上高	756	1,406	528	1,266	-	3,956	100.0%
売上原価	747	1,435	724	1,344	-	4,250	107.4%
売上総利益	8	(29)	(196)	(77)	-	(294)	-7.4%
販管費	0	0	0	0	297	297	7.5%
営業利益	8	(29)	(196)	(77)	(297)	(591)	-14.9%

(単位:千ドル)

2010年12月期第2四半期累計期間							
	ラ・ボエム	モンスーン	LA権八	Torrance権八	本部	合計	
売上高	715	1,481	516	1,159	-	3,870	100.0%
売上原価	726	1,380	826	1,328	-	4,260	110.1%
売上総利益	(11)	101	(310)	(169)	-	(390)	-10.1%
販管費	0	0	0	0	308	308	8.0%
営業利益	(11)	101	(310)	(169)	(308)	(698)	-18.0%

(単位:千ドル)

上記数値は業績管理用の決算整理前の数値となっております。

2011年12月期 第2四半期累計期間 赤字店舗一覧

店舗名	第2四半期累計期間	
	売上	営業利益
タブローズ	85,717	-14,503
骨董通りラ・ボエム	37,577	-13,209
お台場ラ・ボエム	89,810	-12,848
麻布十番モンスーン	41,995	-9,309
飯倉ゼスト	42,761	-8,025
G-Zone銀座権八	117,512	-7,782
G-Zone銀座ラ・ボエム	115,351	-7,192
広尾ゼスト	13,799	-6,771
西麻布SUSHI権八	64,976	-6,403
タブローズ・ラウンジ	34,365	-6,054
お台場ゼスト	63,438	-5,294
六本木ラ・ボエム	20,836	-5,281
天神権八	48,124	-5,012
レガート	137,009	-4,949
天神TEPPAN権八	19,885	-4,681
代官山ラ・ボエム	36,604	-4,469
南青山ラ・ボエム	22,228	-4,448
お台場権八	84,541	-4,225

店舗名	第2四半期累計期間	
	売上	営業利益
G-Zone銀座SUSHI権八	28,244	-3,907
恵比寿ラ・ボエム	32,227	-3,703
桜新町炭焼き権八	37,105	-3,383
西麻布モンスーン	22,375	-3,274
西麻布ゼスト	31,649	-3,194
元町中華街ラ・ボエム	49,277	-3,173
ラクーア ZPバーガー	20,802	-2,736
西麻布ラ・ボエム	22,894	-2,645
グランベリーフードコロシウム	91,639	-2,510
港北ラ・ボエム	75,178	-2,282
G-Zone銀座ゼスト	75,489	-2,153
世田谷ゼスト	52,673	-2,041
恵比寿モンスーン	55,216	-1,916
表参道ラ・ボエム	46,909	-966
桜新町ラ・ボエム	63,667	-306
権八 ビバリーヒルズ	42,659	-15,810
権八 都ホテルトランス	102,243	-6,255
モンスーンカフェ サンタモニカ	113,511	-2,301

(単位:千円)

「広尾ゼスト」は2011年4月11日をもって閉店致しました。



注意事項

本資料における将来に関する事項は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。

This document contains forward-looking statements which represent the Company's expectations or beliefs concerning future events. The Company's actual results could differ materially from those stated or implied in the forward-looking statements herein.



こちらはモバイル用の
サイトとなっております。
スマートフォンからは閲
覧できない場合がございますのでご了承さ
さい。

代表取締役社長
取締役経営管理本部長
事務連絡者氏名
TEL:03-5469-3223

: 長谷川 耕造
: 山下 優子
: 中尾 慎太郎